

## No.55 山本 正道 —無題—

Masamichi Yamamoto

北川フラムさんのコラム / 1997 (平成9) 年 8月 1日付 立川市市報記事より

山本正道の作品の特徴は、その彫刻の中に、静ひつな世界をつくるところにある。

ベンチの上に、植物の葉一枚と女の子がいる風景は、触りたくなるというよりは、静かに見守るという態度を私たちにもたせてしまう。作家にとって作品は、たとえ車止めの機能をもったベンチであっても、すべてがひとつの理想的な調和をしている世界なのだ。

立川のこの少女は、横浜にある山下公園の「赤い靴の少女」のもつ望郷の思いと似ている。作家にとって世界は、いつも祈りの中にある。